

# 自立活動だより



令和7年度 第4号

県立鹿児島聾学校 自立活動部

文責：北川

ことしのこ  
今年も残すところわずかとなりました。今年は、どんな一年でしたか。冬休みも元気に過ごして、  
あたらどしむか  
新しい年を迎えていですね。



## 冬の補聴器・人工内耳の管理について

### ☆ 結露に注意

結露とは、空気中の水蒸気が冷やされて水滴に変わる現象です。

これは、暖かい湿った空気が冷たい物体に触れることで発生し、

窓ガラスや飲み物を入れたコップの表面などでよく見られます。

結露の正体は水です。補聴器や人工内耳にとって、水は大敵です。

冬は室内と室外の気温差が大きくなり、補聴器や人工内耳にも結露がつくことがあります。

補聴器や人工内耳に結露が生じると、故障の原因にもなります。(音が小さくなったり、

こもってきこえたりすることがあります。)

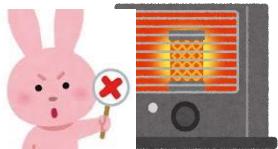


補聴器や人工内耳を外したら、必ず電池を出して、電池室を開けた状態で  
できるだけ早く乾燥剤の入ったケースに入れ、しっかり乾燥させましょう。イヤ  
モールドやフック、チューブなどの水滴は、こよりなどで吸い取りましょう。  
冬でも汗カバーを付けるようにしましょう。



### ☆ 热に弱い

冬はストーブなど暖房機器を使う機会が増えますが、補聴器や人工内耳は熱に弱いです。



### ☆ 電池の寿命が短い

補聴器や人工内耳に使う空気電池は、気温が低いところや乾燥しているところでは、  
電池の減り方が早くなります。

必ず予備の電池を持ち歩きましょう。こまめに電池の残量チェックをしましょう。電池が冷え  
ている場合は、体温で少し温めてから使いましょう。

～冬休みに補聴器店や病院へ行きましょう～  
補聴器や人工内耳に大きな故障がなくても、定期的に親子で一緒に補聴器店や病院でみて  
もらうことで、聾学校卒業後、自分で補聴管理をする習慣がついていきます。ぜひ、冬休み  
を利用して電池や乾燥剤を買ったり、メンテナンスをお願いしたりしに行きましょう。